

## 英語版耐震教本を持ち第3回国連防災会議 パブリックフォーラムに参加して 耐震設計教本英訳委員会 岡部則之

第3回国連防災世界会議が仙台で3月15日から18日にかけて開催され、新聞やTVなどで報じられました。同時開催の関連行事パブリックフォーラムでは、建築系5団体（1）が提案した震災復興シンポジウムの開催が認められ、JASO会員の私はJIA災害対策委員会から参加し、最近完成した「英語版耐震教本」を配布しました。

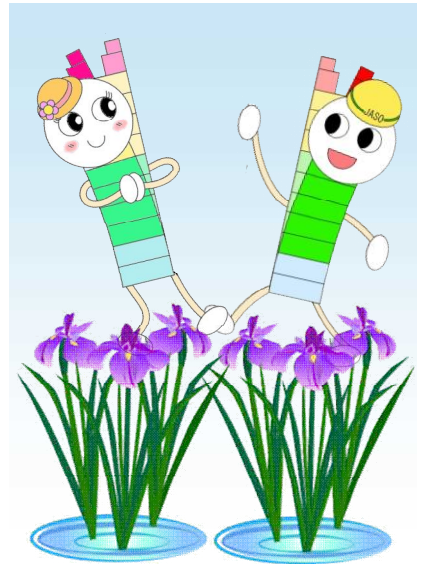
国連防災世界会議とは、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議で、第1回は横浜（1994）、第2回は神戸（2005）で開催されました。第2回神戸会議では、2005年から2015年までの国際的な防災取組の指針「兵庫行動枠組」が策定され、今回の仙台会議では、2030年までの「仙台防災枠組」が、耐震化等による被害の低減化が重要課題として国際的に共有されました。本会議には世界187ヶ国の代表が参加し「災害復興：ビルド・バック・ベター」「ポスト2015防災枠組支持のための国際協力」「災害リスク管理：困難の克服」「都市部における災害リスク軽減」「防災のための公共投資戦略」をテーマに会議が行われました。

会議の全体構成は、仙台市内を2ゾーンに分け、広瀬川から西側ゾーンは国際会議場を中心として主に政府間会議の会場に、広瀬川の東側から市中心部に向かうゾーンは、市民会館、メディアテーク、エレクトロンホール（県民会館）を中心に、参加者や市民に公開されたパブリックフォーラムに充てられま



（左）今回配布した「建築家のための耐震教本(英訳版)」の表紙

した。公開されたパブリックフォーラム全体の参加者は最終的に14万3千人と報告されています。（2面へ続く）



### 目次

英語版耐震教本を持ち第3回国連防災会議パブリックフォーラムに参加して	1 ~ 3
2014年度 委員会活動報告	4 ~ 7
JASOスクール報告	8
巨匠探訪	9
お知らせ&スケジュール	10

### JASOトピックス

- 5/27 JASO協力会総会
- 6/5 JASO定期総会 懇親会
- 6/3~5 建築再生展



(1面より続き)

建築系5団体によるシンポジウムは「いのちを守るまちづくり/家づくり」をテーマに、今回の防災会議の関連行事第1号として、3月14日に400人収容の市民会館小ホールに於いて、開催されました。本シンポジウムは建築学会を中心に建築系5団体により主催され、土木学会、空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、日本建築構造技術者協会、日本都市計画学会、日本都市計画技術者協会、農村計画学会の後援を受けました。シンポジウムは午前と午後の2部構成で行われ、午前は「災害から立ち直るために」のテーマで各団体からの復興支援活動報告がなされ、午後のセッションは「災害に強いまち/家づくり」をテーマに防災を主題に話し合われ、JIAは渡邊前東北支部長が全体報告を、手島宮城地域会復興委員長からは復興支援内容が報告され、JSCAの金箱会長の講演も行われました。本シンポジウムは長く重いテーマであり、大会前には空席が多いのではと案じられましたが、ほぼ満席で延700名の参加者があったと報告されています。この会議資料は事務局に預けてありますので希望者は閲覧できます。

この会議に関連し、私は、中田準一前理事長等と共にJIA災害対策委員として、特に地震の防災と被害対応活動を続けてきました。委員会

には各国建築協会等から、地震被害低減化対応に経験の深い日本に耐震化の資料が求められました。残念ながら英文化された専門家用資料は殆ど無く、その為、JIAとJASOの共同出版「耐震教本」の英訳を進めようと中田亨前常務理事、佐藤寿一常務理事、安達和男、中田準一、岡部則之等の会員で話し合い、JASOの資金協力により「耐震教本」の完全英訳が腰原東大教授監修で今冬完成しました。但し書籍については出版元の著作権もあり、無料配布のみということでした。無料配布でも書籍化が望まれ、その資金を確保するため再度JASO会員に寄付をお願いしたところ、(株)東京パイロン販売さんはじめ33名・社の協力を得ることができました。そして編集は書籍デザイナーの伊原智子さんが無報酬で引き受けて下さり、300部の冊子が発行できました。JASOのホームページから誰でもダウンロードできるようにし、今後は各国の建築家や構造家、設備技術者の協会のHPからリンクされます。

国連防災会議準備室には印刷本見本を持ち込み、評判になりました。しかし仙台会議では紙資料は全廃し、全てネットで情報を配信することでした。その為に配布はシンポジウム会場内で行い、HPの紹介はパンフレットで行うことにしました。並行して国土交通省やJICAなどにも配布し評価されています。



(左上) 建築系5団体主催のシンポジウム  
仙台市民会館小ホール、午前のセッションです。



(右上) メディアテーク内のブース展示場  
パブリックフォーラムは、シンポジウム、ブース展示場、ポスター展示の3種類あり、JIAは建築系5団体のシンポジウムとポスター展示に参加しました。

本会議の国連報告書の中に、以下の文書が記載されています。

“ Prevent new and reduce existing disaster risk through the implementation of integrated and inclusive economic, structural, legal, social, health, cultural, educational, environmental, technological, political and institutional measures that prevent and reduce hazard exposure and vulnerability to disaster, increase preparedness for response and recovery, and thus strengthen resilience. ”

(国連の正式報告書より)

“ 災害に晒された被災への脆弱さを防ぎ、低減するよう、経済、体制、社会、健全性、文化、教育、環境、技術、政治、機構すべての統合された対応により、新たな、また現実の災害

を防ぎ低減化できれば、将来の災害対応と復興への準備体制ができ、靱性（復帰できる能力）が強化できる。”（岡部が訳を考えました。）

この会議に参加すべきはJASOだったというのが私の感想です。国連の文章に記載されている上記の文言はJASOの目的です。このままJASOの活動を進化させれば、この国連の活動を実行する団体になります。JASOの活動は日本国内だけではなく世界が必要としている活動なのでしょう。

皆様の御協力有難うございました。

(注釈)

- 1 日本建築家協会、日本建築学会、日本建築士連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建設業連合会



パブリックフォーラム ポスター展示

JIAは、岩手、宮城、福島、東北支部、本部の5ポスターを展示しました。上の4枚は左から岩手、宮城、福島の各地域会と東北支部のポスターです。右側は本部のポスターで、英語版耐震教本のダイジェストです。



協力広告

耐震改修専用スリット材

NNソフトロックウール



NNソフトロックウール 構造図 耐震改修耐火スリット工法 概要図

株式会社 東京パイロン販売

〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-33-1 第三東都ビル2F TEL : 03-5305-4322 FAX : 03-3316-4177

E-mail : info@pailon.co.jp URL : http://www.pailon.co.jp

## 2014年度 委員会活動報告

昨年度のJASOの委員会・研究会の活動概要を委員会活動票に基づき報告いたします。

### 常設委員会

名称 (委員長名)	活動目的	2014年度の活動報告	2015年度 への動き
運営委員会 (安達和男)	JASOの活動・運営について 全般的な調整、協議を行う	毎月第二金曜日に委員会を開催し、 JASOの活動・運営にかかわる事項を協 議し、次週の理事会に向け調整した	運営執行委 員会として 再編
総務委員会 (平山昌宏)	JASOの運営に関する諸規 定の整備、改廃に関すること 予算の作成及び執行管理、 決算に関すること その他、JASOの管理に関 すること 入会会員や退会会員の審査 確認、及び会員へのサービ スに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画運営委員会の動きによる資料類の 作成は不十分に終わった</li> <li>業務整理と把握、及び作業効率化を図 る業務ソフトを実施にこぎつけた</li> <li>経理・出納システム用ソフトの作成は 未了に終わった</li> </ul>	継続
会員委員会 (山内哲理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員入退会の書類審査およ び会員の名簿管理</li> <li>会員拡大のための活動</li> <li>会員サービスを提供するた めの活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入会員の書類審査</li> <li>退会者の承認</li> <li>会員向けアンケートの整理が終わり、 内容についてのまとめを報告</li> <li>各委員会活動への参加希望者リストを 各委員会の委員長へ配信</li> <li>JASOとして取り組むべきテーマ等の 会員意見を技術情報委員会へ提供</li> </ul>	総務委員会 に統合
技術情報 委員会 (宮城秋治)	総合耐震化に寄与する技術情 報を収集・分析・整理して社 会およびJASO会員にわかり やすく提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>JASOの委員会や研究会のテーマ統制 を図る目的で委員を増強した</li> <li>新たに「耐震工法研究会」を発足</li> <li>新たに「耐震補強のできない事例研究会」 の発足を促した。</li> <li>EVの基準改正や既存遡及などについて 勉強会を企画</li> <li>JASO推奨工法の審査を継続</li> </ul>	継続
広報委員会 (柳下雅孝)	JASO理念の普及とJASOの 周知、宣伝・広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報誌ゆらゆらの定期発行 (年4回：第25号～第28号)</li> <li>ホームページの管理運営</li> <li>ホームページのリニューアル</li> <li>10周年記念事業</li> </ul>	継続
教育・研修 委員会 (原田光政)	耐震総合安全性に係る普及・ 啓発に関する講習会を以て、 会員の資質向上を図ると共 に、一般社会へ向けての耐震 化の啓発を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>AD実務講習 第1～第3講座 2回開催、 第4講座 1回 / 都合7回</li> <li>都沿道技術者講習 9/25・11/3・ 3/26</li> <li>JASOの一般社会への耐震セミナー 7/26住宅金融支援機構と共催</li> <li>東京都・JASO共催「マンション耐震 セミナー」1/10</li> <li>練馬区「マンション耐震セミナー」支 援・講師派遣 9/27</li> </ul>	継続

特別委員会、研究会

名称 (委員長名)	活動目的	2014年度の活動報告	2015年度 への動き
<p>小規模鉄骨造の耐震化促進委員会 (伊藤正利)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模鉄骨造の耐震化を進めるためには事業費用がネックとなる対策として、耐震診断から工事実施に至る事業規模の早期確定</li> <li>・他のリフォーム工事等と耐震化工事を同時に実施する総合的な改修事業の推進を勧める事、以上が建物所有者の負担を考えたときに耐震化のポイントになると考える</li> <li>・委員会の活動では、その為の前段階として、精度の高い診断を実施するエキスパートの養成を行うと共に、AD派遣等の機会を捉えて適した事例があった場合は工事改修までの検討や総合的な改修を働きかけていく事で、耐震化に結び付くデータ蓄積を行う事を目的とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エキスパートの養成 : JASOの事例と学会資料等の分析結果を資料にまとめ、小規模鉄骨造建物の診断・耐震補強エキスパートの養成の為のサブテキストとして整備する</li> <li>・見直し診断の実施 : 小規模鉄骨造耐震改修モデル建物を探し、その実施を図る。今年度同様に部分ごとに実施をし課題の抽出と改善を進めるものとする</li> <li>・アスベスト含有建物の実態調査 : アスベスト含有調査実施の有無を把握するアンケートをJASO会員に行い、年代ごとの含有の有無を把握に努めた</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>構造図の無いSRC造の耐震化推進委員会 (原田光政)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都沿道SRC造マンションの16.5%・RC造で27%が構造図非保存の現状である</li> <li>・SRC造に引き続き、RC造精密診断用の推定構造図作成に於ける柱内蔵鉄筋の調査方法並びに内蔵鋼材の推定方法につき、その手法を確立し耐震化の促進に寄与する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014-9~2015-3末の7か月にてSRC造推定構造図作成の手引き並びに、推定構造図作成の概算費用算定要領を作製</li> <li>・3月26日に「都沿道耐震化推進事業JASO技術者講習会」にて上記成果品を教材として紹介</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>耐震総合安全性の考え方2008改訂委員会 (安達和男)</p>	<p>当該図書の改定について、意義、目的を確認し、改訂の機会を検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年5/23 地震対策合同委員会で、改訂の目的、方針について議論を行った</li> <li>・11/7に委員会を開催し、「直ちに改訂作業に入るのではなく、委員会活動、AD志向、ヒアリング、セミナー等で、内容を蓄積してから改訂を考える」を方針とした</li> <li>・出版社である技報堂からのヒアリングでは、書店での販売は少ない。JASO会員向けとしても、JASO費用負担が必要である</li> </ul>	<p>継続</p>
<p>耐震設計教本英訳委員会 (中田準一)</p>	<p>国際交流事業として、2012年に発刊した「建築家のための耐震教本新訂版」の翻訳及び冊子化を行い、日本の総合的耐震対策の知見を広く公開し、海外の人々に活用できるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月に仙台で開催される国連防災会議で、日本建築家協会が参画するセッションで披露した</li> <li>・JICA、建築関連行政機関に披露し、使用してもらう</li> <li>具体的には、JASO HP上でPDFの公開、会議での冊子の配布を行った</li> </ul>	<p>終了</p>

名称 (委員長名)	活動目的	2014年度の活動報告	2015年度 への動き
津波対策 委員会 (安達和男)	津波災害に関する情報、知見を収集し、対策を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4/28に行われた第11次現地調査に委員の有志が参加し、その報告がPDF化され、9/9に報告会が持たれた</li> <li>・委員会自体の活動として、首都直下、東海・東南海・南海等の地震における関東地方の津波対策を検証しようとしたが、実行できなかった</li> </ul>	終了
病院における 総合耐震安全性 診断マニュアル 作成委員会 (平山昌宏)	2013年度に医療施設耐震化委員会が、中小医療機関の総合耐震安全性診断マニュアルとしてまとめた「JASO医療施設の耐震化対策ガイド[内部資料]」に基づき、病院管理者や医療従事者に医療BCP等の情報を発信するため、普及版のパンフレットを作成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの内容検討</li> <li>・パンフレット「病院耐震ガイド」の作成</li> </ul>	終了
耐震パンフ 設備編 作成委員会 (柳下雅孝)	JASO理念の普及と設備耐震対策の普及・啓発	休止	継続 (再開)
耐震診断報酬 基準見直し 委員会 (宮城秋治)	2011年に策定した診断等報酬基準を見直し、現状に合う耐震診断等の業務内容及び報酬基準額を示すことにより、耐震化の取組み状況に応じた診断等に係る費用を明らかにし、耐震化の各段階にある者が取組みに必要な事項を理解し、その取組みを進めやすくする	<p>適正な報酬算定式や単価、経費の位置付けなどを議論した</p> <p>直接人件費の表現を検討した</p> <p>「S造耐震診断等費用」の進捗状況を確認した</p> <p>「構造図が無いSRC造の想定構造策定費用」の進捗状況を確認した</p>	継続
地震保険 調査委員会 (植田光洋)	地震保険の仕組み、東日本大震災以後の地震保険の状況等を調査、マンション管理組合の地震保険加入の問題点の分析を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備、事前調査のみ</li> <li>(損保協会、損害保険料率算出機構ホームページ等にて情報収集)</li> </ul>	研究会へ 移行
損傷防止 委員会 (近畿支部 長尾直治)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震総合安全性の考え方の関西圏への周知</li> <li>・「財産を守る耐震」の出版とセミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編集委員会の開催</li> <li>・出版と成果品の会員配布</li> <li>・JASOセミナーの開催</li> </ul>	終了
近畿支部AD 業務 委員会 (藤本健)	近畿支部において現時点では未実施のAD派遣事業を行うにあたっての企画および戦略策定を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿地区主要自治体の耐震担当者を対象にしたセミナー開催(12/10)</li> <li>・同上PRを兼ねた各自治体での耐震取組体制などの状況把握</li> </ul>	継続
超高層 研究会 (三木哲)	(休会中)	(休会中)	休会

名称 (委員長名)	活動目的	2014年度の活動報告	2015年度 への動き
補強設計 研究会 (三木哲)	<p>耐震診断の結果、補強が必要な建物の既存建物の耐震化を推進する</p> <p>診断から補強計画・設計に展開する技術面、合意形成の蓄積を図る</p> <p>補強計画・設計業務に必要な契約書類、助成金等の情報を共有する</p>	<p>・毎月1回、第2火曜日に耐震診断が完了した建築、構造担当者に補強計画・設計の素案、業務計画書、見積書や助成金を提案し合意形成を図る</p> <p>・1年間の報告件数：105件、URDが補強計画・設計契約した報告件数：20件、URD以外の契約件数：10件、補強不要：16件、建築主が補強する意思なし：10件、補強検討中：29件、技術的に不可能：4件などとなっている。計画会議では計画・設計の追跡は不可能</p> <p>・URD補強計画・設計・工事監理業務の成果品の審査を並行して行い、補強計画・設計業務の質の向上を図った</p>	継続
地域ぐるみ 耐震化 委員会 (白石健次)	<p>・都内にある木密地域の特性を知り、安全と安心のまちづくりに寄与することを目的とする</p> <p>・JASO会員が木造耐震診断を行っているため、ピアチェックを兼ねた勉強会を開く</p>	<p>・都沿道建築物のうち、木造建築物の耐震診断が実施されたためピアチェックをJASO内部でできるような体制作りを行った(木造AD会議を開催した)</p> <p>・建築基準法改正に伴う変更点と特徴について研究した</p> <p>・他団体の活動に参加した(当研究会の進むべき方向性を探るため)</p>	研究会へ 移行
エコ耐震 研究会 (宇佐美潔)	耐震補強とエコロジー(省エネ・環境対策)を組み合わせせて付加価値の高い耐震補強を提案し、新たな耐震補強へのインセンティブとする	<p>講演会による、勉強会を中心に活動した</p> <p>第1回 1月29日 エコロジー・耐震・長寿命建築・ライフプランなどこれからの建築に欠くことについて研究する(近角真一)</p> <p>第2回 4月16日 長寿命建築について(近角真一)</p> <p>第3回 6月27日 エコハウスを建築した実例、『やいたエコハウス』から考えるパッシブ型の環境建築手法(伊藤正利)</p> <p>第4回 11月7日 古い団地のサッシュ交換(YKKAP(株)リフォーム事業部 第1事業推進部長 横谷功)</p>	継続
耐震工法 研究会 (宮城秋治)	<p>・耐震補強工法、制震工法、免震工法など耐震工法について幅広く情報を収集し、耐震化が求められる建物に適した耐震工法が選択できるような体系を構築する</p> <p>・工法ごとの概算費用も把握することで耐震化に向かう早期の段階でもコストマネジメントを簡易にできるようにする</p>	<p>・初めて研究会を立ち上げて情報収集の方向を検討した</p> <p>・文部科学省の耐震補強工法事例集や経済調査会のマンションRe最新耐震改修工法など既往の資料から認定工法を収集した</p>	継続

## 第3回JASOアドバイザー講習 教育研修委員会 白石健次

平成26年度非木造建築物耐震診断等技術者育成としての位置づけで実施された今回のテーマは「JASO医療施設耐震ガイドと構造図のないSRC造建物の耐震化促進に向けて」と題して、JASOアドバイザーを対象とした講習会を平成27年3月26日(木)に実施しました。

当日は天気にも恵まれたおかげか申込者数をはるかに超えた68名の方に出席して頂き、また講師の熱弁もあり有意義な講習内容でした。

東京都が推し進めている緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進に向けて約5000棟のうち、約90%が耐震診断を実施しましたが残りの建物は色々な問題を抱えており、特に既存図面が保存されていないために耐震診断を実施するにはかなりハードルが高いこともあり問題となっていました。さらには東日本大震災においては多くの医療施設において地震被害が発生して医療体制回復が遅れたことを受け、JASOの関係者がこの問題を重視して討議を重ねて「病院耐震ガイド」パンフレットを作成しました。

講習の概要と講師の方々は次のとおりです。

「構造図のないSRC造の推定構造図作成の手引き他」・・・原田、足田、安田

「推定構造図作成の概算費用算出要領」・・・鈴木(昭)、安田、細貝

「JASO医療施設耐震ガイドパンフレット」・・・森本

「災害時の医療施設の被害状況と課題」・・・岩堀孝司先生 東京医科歯科大学大学院 歯科総合研究所 非常勤講師

大地震による被害を少しでも軽減できるようにJASOが調査・研究を行った成果をJASOアドバイザーに知ってもらうことが重要課題であったことは言うまでもありませんが、JASOとして安全・安心な街づくりに貢献できることが使命ではないかと考えます。

これからも調査・研究を行った成果を会員に広く知っていただくために講習会を企画しますので多くの方々に出席していただきます様よろしくお願いいたします。





# 巨匠探訪

## 服部 範二氏（前編） （株）KR建築研究所

～耐震のルーツを辿る～

日中戦争が始まった昭和12年に高田馬場で生まれる。幼少の頃は佐世保、横須賀など港町を転々としたが、7歳の時に帝国海軍少佐の父が他界する。小学校時代に空襲から逃げ回った記憶は今も離れないが、その頃からとにかく計算が得意で小学校のうちに早くも珠算1級を取得していた。その頭脳は、喜寿を迎える今でも進化し続けており、衰えを知らないどころか今では3ケタ×3ケタ乗算やルート式をも暗算でこなしてしまう。

さて、疎開先であった県立熊谷高校から、絵が好きだったので横浜国立大学工学部建築学科へ進み建築の世界に入ることとなるが、卒業後しばらくして、横浜国立大学の学長を退官された巨匠・江國正義氏が国建築事務所（現・（株）国設計）を開設したのを受け率先して入所した。ここで計算達者な能力を思う存分に発揮することになり、もともとデザイン志望ではあったはずが、気が付けば構造界の道に深く入り込むことになった。

35歳から国設計の代表取締役を務め、48歳の時に（株）KR建築研究所を創設した。国建築のKと、リフォーム・リニューアルの「R」。バブル景気に突入しようとするこの頃から、既に建築ストックの時代が到来することを予見していたことになる。

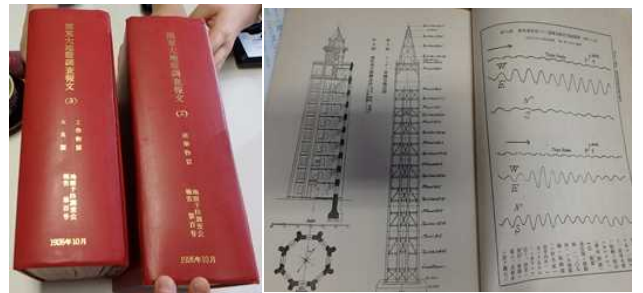
昭和51年にできたRCの耐震診断基準には当初から関心を持っており、新潟や八戸での大地震を経験する度に建物が倒壊してきたのを見て、「何かがおかしい」と感じていた。そして宮城県沖地震が発生。耐震診断をこの頃既に実践していた服部にとって、東北大学の屋上で観測された、当時建物上の値としては世界最大であった1,000galを記録したのを聞いて驚愕した。

そして、平成7年の阪神淡路大震災。前年に胃癌を克服したばかりの病み上がりにもかかわらず、早くも1月から現地に入った。帰京後、矢野克巳・村尾成文・仲田潔らとともにJASOの前身である建築耐震設計者連合（JARAC）の設立に向けて奔走することとなった。

（次号へ続く）



取材に応じる服部範二氏



故江國正義氏が残した「関東大震災調査報文（1926年10月）」は、再製本され綺麗に保管されている。右側は浅草凌雲閣に関する記載がある。



関東大震災調査報文には、都市部の火災被害状況のみならず、東京湾全域の海底変位や、津波についても調査されていた。

（広報委員：柳下雅孝）

.....お知らせ.....

## 耐震総合安全機構 定期総会 記念講演会・懇親会のお知らせ

定期総会を開催いたします。

会員の皆様はぜひご出席ください。

日程：2013年6月5日(金)

会場：日中友好会館ホール  
東京都文京区後楽1丁目5番3号

時間：定期総会：14:00～15:00

記念講演：15:15～17:00

懇親会：17:15～19:15

懇親会会場：日中友好会館内1階「馥(ふく)」



## JASO協力会 定期総会のお知らせ

協力会の総会を下記の通り開催します。法人会員・賛助会員の皆様はご出席ください。

日時：平成27年5月27日(水) 15時30分開場

場所：JASO事務局 2階会議室

東京都文京区音羽1-20-16 PAL音羽ビル2F

また、閉会後は17:00ごろから同会議室にて懇親パーティ(会費1,000円)を行う予定です。

### 2015年 JASO AD行事スケジュール

5月	5/12	(火)	耐震化促進会議
	5/13	(水)	アドバイザー実務講習会
	5/26	(火)	アドバイザー会議
	5/27	(火)	アドバイザー実務講習会
6月	6/5	(金)	JASO定期総会(日中友好会館)
	6/9	(火)	耐震化促進会議
	6/10	(水)	アドバイザー実務講習会
	6/23	(火)	アドバイザー会議・アドバイザー実務講習会
7月	7/14	(火)	耐震化促進会議
	7/15	(水)	アドバイザー実務講習会
	7/28	(火)	アドバイザー会議・アドバイザー実務講習会

JASO-協力会からのお知らせ(広告)

### 建築構造物の耐震補強工事で安心・安全な街づくりに貢献します

#### [事業内容] [建築構造物の耐震補強工事]



鉄骨ブレース・RC増壁・袖壁・耐震壁・外付フレーム補強工事  
炭素繊維による柱・壁・梁・床・補強工事  
無収縮モルタル注入・エポキシ樹脂注入・樹脂アンカー各種施工  
耐震スリット補強工事(完全スリット・部分スリット)

## 富士テクノ株式会社

(TEL) 03-5316-2825

(FAX) 03-3306-2611

東京都杉並区下高井戸1-35-11

<http://www.fujitechno-kk.co.jp>